

24時間営業で多様な消費者のニーズに
 応えるマックスバリュ豊田四郷店

マックスバリュ豊田四郷店

OPEN

地場野菜売場など 「じもの商品」充実



愛知環状鉄道・四郷駅周辺の土地区画
 整理事業街区にできたショッピングセン
 ター「四郷スマートタウン」に4日、主
 カテナントの「マックスバリュ豊田四郷
 店」が開店した。同店はイオングループ
 のマックスバリュ東海㈱（浜松市）が運
 営する24時間営業の食品スーパーで、豊
 田市内の第一号店だ。同社は、西三河地

区への出店
 を強化して
 いく方針で、
 豊田四郷店
 はその基幹店舗となる。
 売場面積は1878㎡
 で、標準サイズの「マッ
 クスバリュ」よりも2割
 ほど広く、品目数も約
 1800と3割ほど豊富
 だ。地産地消への関心が



特に高い豊田の消費者を
 意識し、豊田市近郊で取
 れたものを中心とする地
 場野菜や、豊田市産豚肉
 の新ブランド「とよたひ
 まわりポーク」、市内の
 酒蔵をはじめとする県内
 のお酒、一色魚港から直
 送した丸魚や刺身、切り
 身などの「じもの商品」
 のコーナー展開に力を入
 れている。

のバランスを考慮した弁
 当、惣菜等の紹介で健康
 的な食生活の提案に取組
 む「ちゃんごとほん」の
 コーナーを設置したりし
 て売場を特徴付けしてい
 る。

なお、四郷スマートタ
 ウンにはすでに「和食さ
 と」と100円ショップ
 「セリエ」、ドラッグスト
 ア「マツモトキヨシ」が
 開店しており、10日には
 ホームセンター「カイン

ズ」がブランドオープン
 して全てのテナントが出
 揃った。

**地産地消の豚肉
 ひまわりポーク**

目玉の一つとなる新ブ
 ランド豚肉「とよたひま
 わりポーク」は、堤本町
 のトヨタファームと西広
 瀬町の梅堀田畜産が徹底
 した防疫体制で飼育し、
 秋葉町のフィード・ワン
 フーズ㈱が加工したもの。
 豚の肥育から製品化まで
 を市内の業者が一貫して
 手掛けている。

ひまわりポークの名の
 由来は、豊田市の花ひま
 わりの種を加えた飼料で
 豚を育てているから。豚
 熱で大打撃を受けた養豚
 家が連携して、より自由
 な地産地消ブランド肉の
 開発を目指して育成し、
 今月から出荷を始めた。
 販売は市内の小売店に限
 定している。【吉田直樹】

豊田産「ひまわりポーク」も